

【件 名】	路面補修工事（7北南の3）	【事務所名】	北多摩南部建設事務所	
【工事場所】	東京都三鷹市野崎二丁目地内 一般都道府中三鷹線（第110号）人見街道	【受注者名】	ピュアロード株式会社	
【工 期】	令和7年9月9日から令和8年3月30日まで	【主たる技術者名】	監理技術者 水越 一博	

【工事概要】

本工事は、一般都道 府中三鷹線（人見街道、施工延長374.30m、車道幅員5.15m～6.70m）において、部分打換及び路面切削による車道舗装の補修を行ったものである。

【表彰理由】

本施工箇所は、大型車のスムーズなすれ違いも困難なほど幅員が狭いうえ、住宅が近接・密集している。本受注者は、現場条件を踏まえた施工方法の工夫を行うとともに、きめ細やかな事前の広報やバス事業者等の関係機関との綿密な調整など、施工に伴うトラブルを回避するための取組を着実にを行い成果を挙げた。新技術の採用にも積極的に取り組んでおり、他の模範となる工事であった。



施工前



施工後

【受注者の声】

◇ 苦労した点

車道幅員が狭い中、路線バスが往来するとともに、路肩に電柱や信号機が点在するなど厳しい施工条件であった。特に、L形側溝の直背後に住宅が近接していたことから、騒音・振動を伴う作業は短時間での施工が求められた。

◇ 特に工夫した点

電柱や信号機付近は、路線バスが通行可能な範囲を先行して施工のうえ、路線バスの運行終了後に通行止めを行い残存部を施工することによって、騒音・振動を伴う作業時間の短縮を図った。

◇ 現場で得られたやりがいや達成感

週間工程表を毎週約1000枚配布するなど地域住民への周知を徹底した結果、通行止めや騒音・振動に関する苦情もなく完工できた。さらに、工事完了時には「狭いなか大変でしたね」など、地域住民の方々に労いの声をいただいたこと。

◇ 建設業の将来を担う若手技術者や学生に対し伝えたいこと

どのような仕事にも辛いことや苦しいことがあるが、毎回現場を無事に完成させることができた時に「熱意を持って仕事に取り組めば必ず自分の成長につながる」と強く実感すること。皆さんにも是非この達成感を感じてほしい。



路線バス通行、住宅近接状況